

東京に暮らす生活者に近いテレビ局としての TOKYO MX を伝える広告

---

TOKYO MX

## 課題

---

東京の生活者に対して、「あなたとの距離が近いテレビ局がTOKYO MXです」というメッセージを発信し、一人でも多くの東京に暮らす生活者がTOKYO MXを少しでも「自分事」として捉えてもらうことを目指す。

認知度や知名度が他のテレビ局に比べると低い  
という現状がある。



**特にTOKYO MXに馴染みがない人は誰だろう？**

というところから、考えました。

## 注目したポイント

### ①特にTOKYO MXに馴染みがない人

→東京で暮らす人の中でも「**地方出身者**」には馴染みがないのではないだろうか？

- ・地域によっては、「9チャンネルは押しても何も映らない」と認識している人も多い。
- ・「ローカル番組・局」＝地方のイメージがあり、東京ローカルの番組を放送する局が存在していることを認知していない人もいる。

### ②「東京に住む地方出身者」に共通する、「東京で見るテレビ」に関する思い出はないか？

- ・上京してテレビをつけた時に、地元と違う番組表に驚いた経験。
- ・地元のローカル番組がないちょっとした寂しさ。
- ・それでもだんだんと東京のテレビの番組表にも慣れ、お気に入りの番組も見つかっていく。 など。

### ③ローカル番組（局）ってどんな存在？

- ・例え地元の番組ではなくても、どこか懐かしく感じてしまう。
- ・その土地に住む人に距離が近い。
- ・地元感、安心感。

TOKYO MXは、  
東京に住む人みんなに近いテレビ。  
東京出身者だけでなく、地方出身者にとっても。

東京に住む「地方出身者」をターゲットとし、  
上京の思い出・東京で見るテレビの思い出で共感を得ると共に  
TOKYO MXの存在を知ってもらう。  
TOKYO MXが東京に住む生活者に近いということを伝える。

## ビジュアルイメージ

### 東京にも、ローカル番組あったんだ。

上京してきて、初めての夜。  
東京の夜は意外と静かで、少し寂しくなってテレビをつけた。

寂しさを紛らわすようにチャンネルを変えていたら、  
地元では映らなかったチャンネルが気になった。

初めて見るはずなのに、なぜか時々懐かしい気持ちになって  
私と東京が、ちょっとだけ近づいた気がした。

TOKYO MX